

平成7年 [1995年]

発行 和歌山県知事公室 広報公聴課 〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎0734(32)4111

4月のこよみ
●世界保健デー 7日
●みどりの週間 23日~29日

県民の友 No.680

平成七年度県予算決まる 総額 五、四三五億七、八四八万七千円

昨年九月、関西国際空港が開港し、今年度には、紀南の空にもジェット機が飛び立ちます。

いよいよ「和歌山新時代」の到来。

高速道路の建設、県立医科大学移転整備、県多目的ホールの建設……。

陸、海、空の交通基盤整備はもとより、健康福祉、住環境整備、教育、文化の振興、産業の育成など、進めなければならない事業は数多くあります。

県では、ビッグプロジェクトから災害対策まで、きめ細かく新しい時代に対応できる積極的な新年度予算を編成しました。

(四~五面で新年度予算特集)

上昇気流に乗つて



今年度開港する南紀新空港の建設現場

県内唯一の人の住む離島である大島と、本土を結ぶ大島架橋が二月に着工しました。

大島は本州最南端の地、串本町の東南約一・六キロメートルの沖合いに位置する、人口約千八百人の温暖な地。ここには雄大な自然と、日本最古の石造りの「櫻野崎灯台」や「日米修好記念館」「トルコ記念館」などの歴史的に優れた多くの観光名所があります。

しかし島であるため船で渡らなければならぬことなど、本土と島との間には生活面の格差があります。

大島架橋が完成すれば、住民の方々の生活基盤の安定や地域の活性化に大いに貢献します。

があり、県ではこの解消のためさまざまな対策を行ってきました。

県道櫻野串本線は串本町櫻野と串本町出雲を結ぶ総延長約七キロメートルの重要な路線です。架橋部分は総延長約一・五キロ

メートルで、国立公園内というところを配慮して、自然との調和を図るために二ヒンジアーチ形式

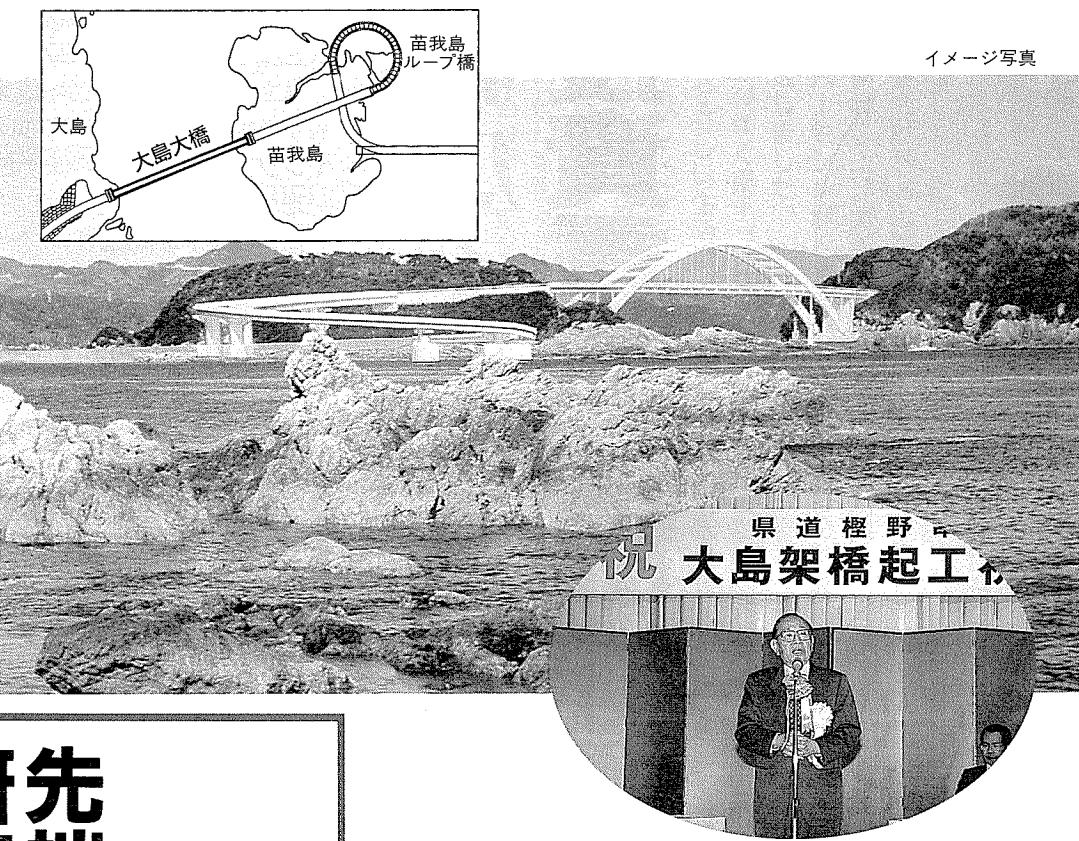
の大島大橋（仮称）とループ橋

がかけられます。

大島架橋が完成すれば、住民

の方々の生活基盤の安定や地域

の活性化に大いに貢献します。



イメージ写真

大島架橋着工

島へつながる夢の架け橋

進む河川敷の緑地整備、

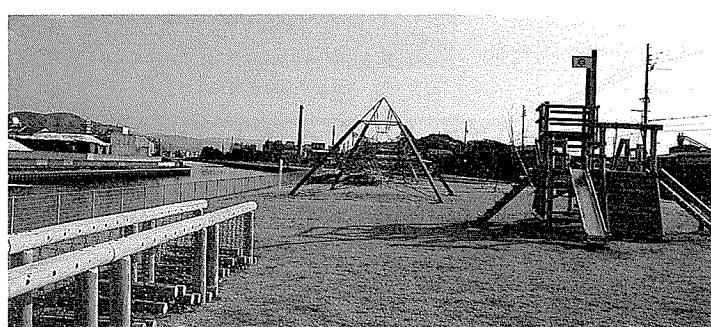
アクア・ルネサンス

和歌川緑地

県では、和歌山市内を流れる和歌川の周辺に、緑地広場やスポーツ施設、景観との調和を図る歩道など、誰もが水に親しめる空間の整備を進めています。

市の中心部市堀川の周辺でも、和歌川にかかる寄合橋までの区間を三つに分け、それぞれ「中央商店街を巡るにぎわいの水辺」和歌山城を巡る歴史の水辺」「子どもたちが水とふれあういこいの水辺」をテーマに護岸美化や植栽などを進めています。

現在、新堀橋からその下流にかけての多目的遊戯ゾーンに休憩広場、ゲートボール場、テニスコート、遊歩道、遊戯広場、



駐車場などが完成しています。来年度にはすべてが完成する予定。地域住民の憩いの場、健康増進の場として期待されています。

市堀川の周辺整備

和歌山市内中心部を流れる市堀川の周辺でも景観整備を行っています。堀川にかかる雑賀橋から市堀川にかかる寄合橋までの区間を三つに分け、それぞれ「中央商店街を巡るにぎわいの水辺」和歌山城を巡る歴史の水辺」「子どもたちが水とふれあういこいの水辺」をテーマに護岸美化や植栽などを進めています。

総事業費十億円をかけた景観整備。現在、京橋から東側が植樹を残しほば完成しています。



また、今年度から和歌川ポンプ場の導水時間を、従来の八時間から二十四時間稼働に延長し、親しみの持てる川を目指し水質浄化を図っていきます。

那智勝浦本宮線 西中野川バイパス開通



この用地へは、すでに県内企業などを積極的に導入していく方針です。

この路線は拡幅工事が困難で、大雨などによる災害も多く、早期改良が強く望まれています。このほど完成した那智勝浦本

この用地へは、すでに県内企業などを積極的に導入していく方針です。

この路線は拡幅工事が困難で、大雨などによる災害も多く、早期改良が強く望まれています。このほど完成した那智勝浦本

この用地へは、すでに県内企業などを積極的に導入していく方針です。

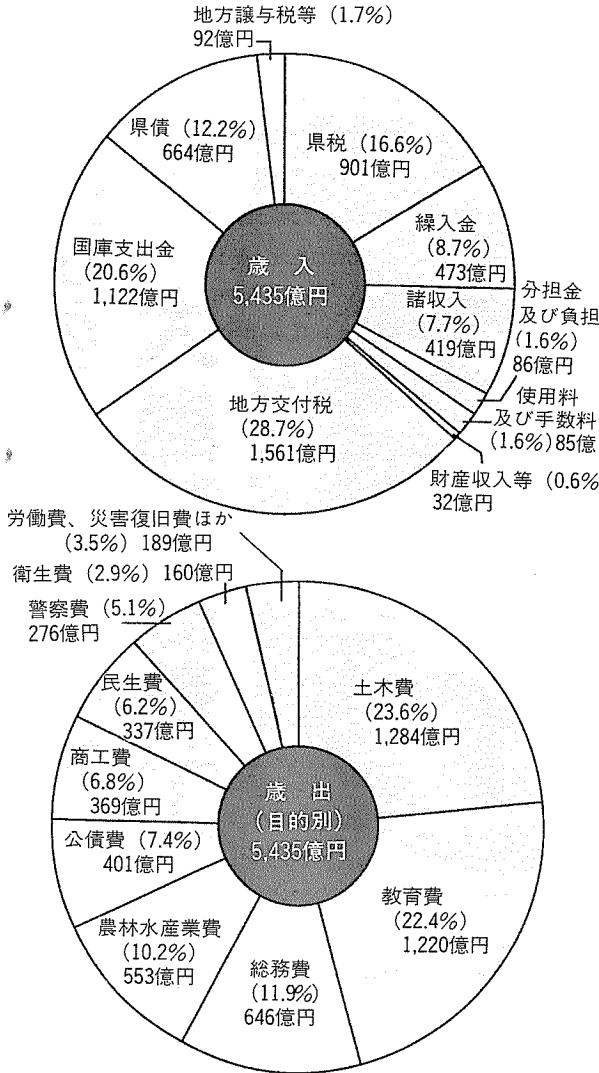
この路線は拡幅工事が困難で、大雨などによる災害も多く、早期改良が強く望まれています。このほど完成した那智勝浦本

この用地へは、すでに県内企業などを積極的に導入していく方針です。

この路線は拡幅工事が困難で、大雨などによる災害も多く、早期改良が強く望まれています。このほど完成した那智勝浦本

この用地へは、すでに県内企業などを積極的に導入していく方針です。

この路線は拡幅工事が困難で、大雨などによる災害も多く、早期改良が強く望まれています。このほど完成した那智勝浦本



投資重点型の予算編成

* 地方特定砂防環境整備 2億9,000万円
通常の砂防事業とあわせて、緑地、公園などの整備を実施。

“燐” 黒潮ロード交通基盤整備 2億6,000万円
御坊以南の国道42号などの渋滞防止のための施設整備や、きめ細かな交通情報を提供。

公園整備 11億7,900万円
和歌公園、橋本運動公園などの整備。



こころ豊かな人づくり

語学指導を行う外国青年招致 1億5,700万円
外国語教育の充実と地域レベルでの国際交流を深めるため、語学指導を行う外国青年を招致。

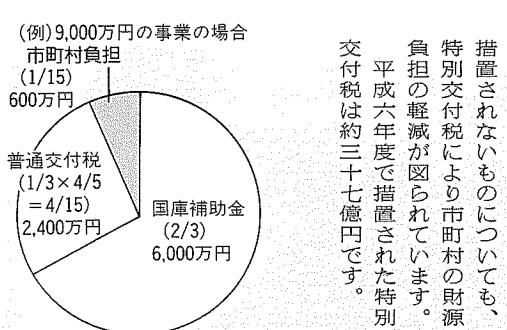
山東省友好提携10周年記念（新） 6,700万円
日中友好県民の翼を組織し、約200人を派遣。

県旅券事務所設置（新） 3,900万円
J R 和歌山駅ビル4階に設置。バスポートの発行などの受付窓口を3カ所に増やすとともに相談窓口コーナーも設置。

友好提携交流推進 2,200万円
アメリカ合衆国フロリダ州及びメキシコ合衆国シナロア州との友好提携を締結。



高等学校施設の整備 41億5,400万円
日高高校体育館新築や新宮商業高校ホール新設など。



私立高等学校等経常費補助

27億7,400万円

私立高等学校、小中学校、幼稚園の教育水準維持向上と保護者負担の軽減。

ヤングプランアシスト(新) 2,500万円

地域活性化運動を積極的に推進する青年団体に対する補助。

近代美術館企画展開催 7,300万円

「第5回英國ヴィクトリア&アルバート美術館展」などの実施。

博物館特別展、企画展開催 5,900万円

「八代將軍吉宗と紀州徳川家」などの開催。

県民文化会館大規模修繕(新)

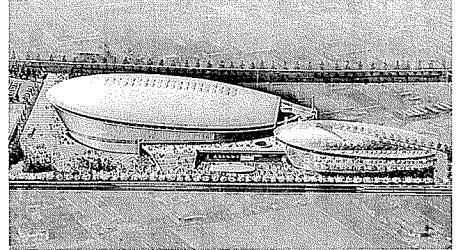
5億4,000万円

大ホール舞台及び館内の設備等の改修を実施。

県多目的ホール(仮称)建設

21億2,800万円

本年度から本格着工。



たくましい産業づくり

中小企業融資制度実施

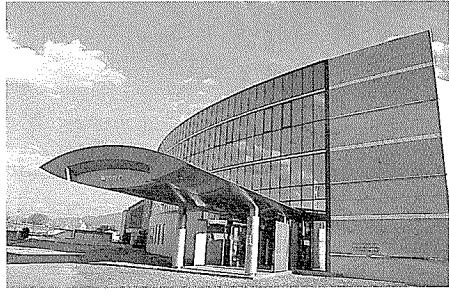
198億6,600万円

厳しい経済情勢と兵庫県南部地震の影響を踏まえ、中小企業融資制度を拡充。

県工業技術センター再編整備

7億7,400万円

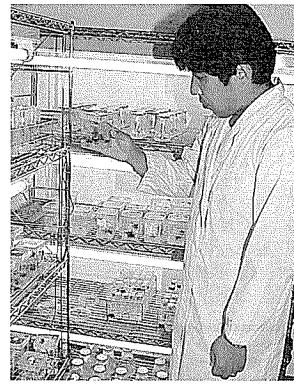
本年度から実証棟の建設に着手。これにより、工業技術センターの再編整備が完了。



先端技術産業等誘致促進(新)

1,500万円

先端技術産業、試験研究施設、ソフトウェア業の誘致を促進。



吉宗関連事業

総額4億5,700万円

N H K 大河ドラマ「八代將軍吉宗」の放映を機会に和歌山県を全国的にPRするための予算。

ふれ愛紀州路・心のふるさとキャンペーン(新)(再掲)

5,500万円

県内7カ所での吉宗ゆかりのイベントの実施や吉宗ガイドマップの作成など。

首都圏観光宣伝(新) 2,000万円

山手線(J R 東日本)の車両貸し切り広告で重点的にPR。

吉宗・才蔵・弥惣兵衛展(新) 2,300万円

吉宗時代の水路、井堰の事業地図、縮小模型の製作展示など。

特別展「八代將軍吉宗と紀州徳川家(新)(再掲)

3,600万円

吉宗所用品一括(重文)ほか109点を展示予定。

そのほか、けんぶん寄席や薪能上演、全国ふるさとづくり広報など、吉宗関連事業を数多く展開します。

同和対策事業と
地方交付税

のびゆく県土づくり

半島振興道路整備 128億3,900万円

県道32路線の重点整備。

府県間道路関連 27億9,400万円

国道371号橋本バイパス、県道泉佐野岩出線の整備。

第2県土軸関連 38億5,500万円

国道311号、国道424号の整備。

大島大橋架橋関連 10億1,000万円

公共街路 12億5,000万円

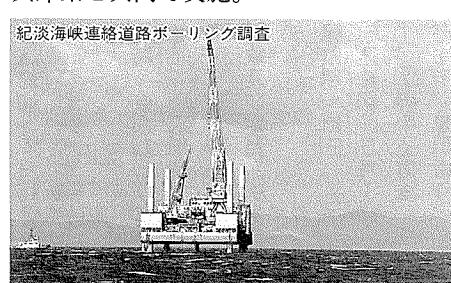
海南駅連続立体交差、和歌山港鳴神山口線、和歌浦廻線の整備。

広域農道 14億3,100万円

紀ノ川左岸地区、日高地区など。

紀淡連絡道路調査 2億200万円

紀淡連絡道路に関する調査を建設省、兵庫県と共同で実施。



近畿自動車道紀勢線環境現況調査

5,000万円

海南～吉備間の4車線化整備のための

調査を実施。

太平洋新国土軸推進基盤整備調査

1,700万円

紀淡連絡道路沿線の開発計画地における土地利用計画の検討と将来ビジョン策定。

鉄道整備推進 14億5,500万円

JR西日本が実施する紀勢本線の高速化などに伴う基盤整備の費用負担など。

南紀新空港建設 26億6,600万円

本年度で工事が完成し、ジェット化空港として開港。

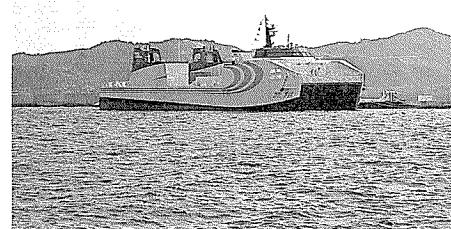
ヘリ・ネットワーク推進 2,100万円

和歌山市内においてヘリポートを整備するための調査などを実施。

テクノスパーライナー誘致促進

2,100万円

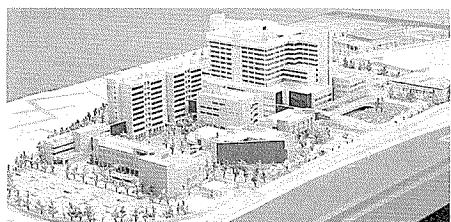
超高速貨物船テクノスパーライナーの母港誘致を促進するとともに貨物輸送実験を支援。



すこやかな社会づくり

医科大学移転整備 33億5,300万円

附属病院の建設工事が本格化。



看護短期大学整備 30億4,900万円

和歌山市三葛に建設中。本年度中に完成。

看護職員養成体制基本構想策定(新)

600万円

県内養成機関の計画的機能整備に関する調査と県立高等看護学院の紀北地方への移転整備について検討を実施。

休日夜間救急医療対策 1億2,000万円

休日急患センターなどの運営に対する補助。

骨粗しょう症総合対策(新) 2,100万円

骨密度測定器を整備し、保健所での検診時に活用するとともに市町村への貸し出しも実施。



在宅福祉事業の拡充 9億5,500万円

高齢社会に向けて、ホームヘルパー、

ショートステイ、デイサービスの在宅老人福祉サービスを拡充。

老人福祉施設整備 16億4,500万円

特別養護老人ホーム4ヶ所、在宅介護支援センター4ヶ所などの新設や改築。

老人保険施設利子補給(新) 3,900万円

老人保健施設の整備に対する利子補給を実施。

在宅身体障害者対策(新) 1,200万円

重度身体障害者の住宅改造に対する補助や「紙おむつ」の給付を実施。

児童福祉施設・

身体障害者療護施設整備補助(新)

3億9,200万円

肢体不自由児施設や身体障害者療護施設の改築、増築の補助。



身体障害者福祉センター

及び中央児童相談所統合整備

11億6,700万円

和歌山市毛見琴の浦に10月オープン予定。

乳幼児医療費助成 2億1,700万円

乳幼児にかかる医療費無料化制度を対象年齢3歳未満に拡充、所得制限を撤廃。

一般会計予算五千四百三十四億七千八百四十万円、特別会計予算一千一百二十五億九千八百九十七万五千円、地方公営企業特別会計予算四百三十二億五千七百四十二万円。

新年度予算は、県税収入が全体として伸び悩んでいる状況を踏まえ、行政改革などによる歳出の合理化とともに、国の財源措置のある起債の活用や各種基金の取り崩しにより財源確保に努めました。

一般会計予算の伸び率は6・5パーセント(NTT債繰り上げ償還を除く)、県単独の投資も5・4パーセント増とするなど投資重点型の予算を編成しました。

「のびゆく県土づくり」「すこやかな社会づくり」「やさしい生活環境づくり」「こころ豊かな人づくり」「たくましい産業づくり」を五本柱に、生活環境整備重点化事業や県民の皆さんの安全確保のための防災関連予算、和歌山県の全国へのPRを図る吉宗関連事業など幅広い施策を盛り込んでいます。

紙面の都合上すべてを紹介することはできました。せんが、ここでは主なものを取り上げてみまし

(新)は新規事業、百万円未満四捨五入

を盛り込んでいます。

長時間保育(新) 1,300万円

12時間以上の長時間保育を推進するため、国庫補助対象外の保育所に対し、県単独で補助。

子育て支援児童福祉施設短期利用(新)

1,000万円

保護者が病気などによって児童の養育

が一時的に困難となった場合、児童福祉施設などで一時的に養育する制度を実施。

同和問題の解決 152億8,900万円

住環境整備などにかかる残事業の実施に積極的に取り組むとともに早期完全解決のための教育啓発活動や産業就労対策を推進。

大規模災害に備えて 防災関係予算

防災ヘリコプター整備推進(新)

10億800万円

大規模災害や患者の救急搬送に迅速に対応するため、防災ヘリコプターの導入と航空消防防災体制の整備を推進。



この写真は購入機種とは関係ありません

緊急情報衛星同報システム整備(新)

500万円

地震や津波の情報をより迅速に入手するため、衛星を利用した情報伝達システムを導入。

大規模地震等に対する体制強化推進(新)

400万円

兵庫県南部地震を踏まえ、防災体制の見直しと災害対応マニュアルを整備。

地域防災計画見直し(新) 1億円

詳細な被害想定調査に基づく地域防災計画の見直しを実施。

やさしい生活環境づくり

自歩道段差修正 2億5,000万円

高齢者や障害者の利便を図るために、県下市街地の県管理道路の段差を修正。

大新公園地下駐車場建設 15億900万円

和歌山市の大新公園周辺地域の交通渋滞の緩和を図るために建設工事を促進。

公営住宅建設 15億6,900万円

建替を中心とした公営住宅の建設を推進。

都市型高度複合施設整備調査(新)

(県立医科大学跡地整備調査)

1,000万円

高度な機能を持つ施設の立地を目指し、基本構造の策定に着手。

紀ノ川流域下水道 42億1,300万円

本年度から処理場本体の下部工事に着手。

公共下水道基本計画策定補助

3,100万円

下水道事業に着手していない市町村に

対し、公共下水道基本計画の策定を補助。

下水道事業促進整備補助(新)

3,800万円

公共下水道を実施している市町村に対し、事業費の一部を県単独で補助。

合併処理浄化槽整備補助

3億6,700万円

市町村が実施する合併処理浄化槽の設置に対する補助

農業集落排水 18億7,700万円

農村地域において、し尿、生活雑排水の処理施設を整備する市町村に対する補助。

地方特定河川等環境整備

10億2,500万円

河川改修事業にあわせて、環境に配慮した護岸等を整備。

和歌川アクア・ルネサンス 2億円

和歌川(市堀川)の景観整備を図るために、護岸美化と植栽を引き続き実施。

紀州で、吉宗になる。

吉宗探訪

時鐘堂(和歌山市)

正徳2年(1712)、吉宗が藩主の時代に建立。時刻を知らせるだけでなく、火災などを知らせる役目も果たしました。鐘は二代藩主光貞の命で、「大坂の陣」の時使用した大砲を作り直したものと伝えられています。

湯崎温泉(白浜町)

『日本書記』や『万葉集』の時代から天皇をはじめ多くの人が訪れた名湯。当時は牟婁温泉、紀温泉などと呼ばれていました。吉宗が光貞に従い、入浴したといわれています。中でも「崎の湯」は天然の岩風呂で、最も歴史が古い温泉です。

重要文化財／南蛮胴具足(紀州東照宮蔵)

吉宗が郷里の和歌山に残した遺品・奉納品を中心にゆかりの品々を展示します。

重要文化財／太刀 銘 備前国(以下不明伝真長)糸巻太刀柄(紀州東照宮蔵)

吉宗の人格を形成した紀州徳川家について取り上げます。ここでは、初代頼宣以来十四代茂承に至る歴代藩主に関する資料が展示の中心となります。

葵紋板文庫
(紀州徳川家伝来品)
(県立博物館蔵)

彼の両親や兄、紀州時代に彼をささえたブレーンたちに関する展示をします。

光貞筆 御馬之絵(長保寺蔵)

「八代將軍吉宗と紀州徳川家」

紀州藩五代藩主から江戸幕府八代將軍となつた徳川吉宗。この特別展は吉宗ゆかりの文化財、約二五〇件(三期総数)を一堂に展示し、彼の生きた時代に思いをはせていただこうと開催するものです。吉宗を生みだした紀伊国、そして紀州徳川家という環境の中で、吉宗という人物をとらえなおしてください。

展示は次の三つのコーナーで構成されています。

1 吉宗と吉宗伝説

場所 和歌山県立博物館
〒640 和歌山市吹上1-4-14
開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日
入館料 一般800(640)円、高校・大学生500(400)円、小・中学生250(200)円
※()内は団体20人以上の料金

お問い合わせは県立博物館 ☎(0734)36-8670へ

○

日中共同でパンダの研究

日中共同でジャイアントパンダの研究を進めるため、白浜町のアドベンチャーワールド内に建設されていた「ジャイアントパンダ自然繁殖研究センター」が先月完成しました。この施設はジャイアントパンダの飼育下での自然繁殖の研究を中心に、飼料や疾病の予防、治療などを研究するために建てられたもの。

現在オスとメスの2頭のジャイアントパンダが順調に成長しています。(白浜町)

県外の若者に 「和歌山」をPR



F M 802で県提供番組の
DJを担当する土山和子さん

豊かな自然や文化、歴史に恵まれた和歌山県。関西国際空港が開港して半年余り過ぎましたが、和歌山県の魅力をもっとたくさんの方に知っていただくために、県では情報誌やラジオなどを使って県外に向けてPRを行っています。

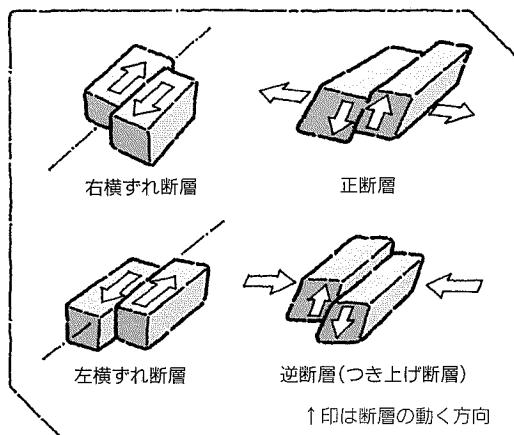
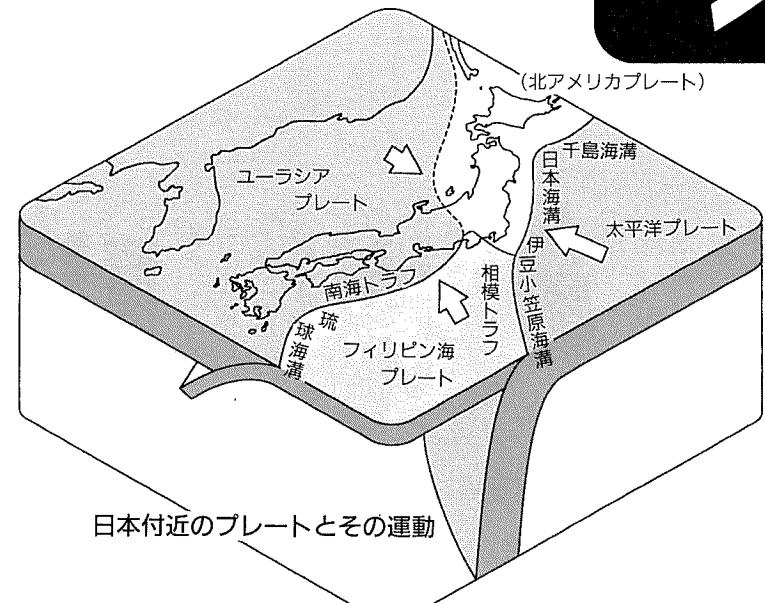
ラジオでは、FM東京で和歌山県の観光や特産、歴史、人物などさまざまな情報を紹介しています。
(毎週金曜日午後3時30分頃の「フライデー・ワンショットトーク」)

また今月からは、新たにFM 802により、大阪を中心とした近畿地区でも県提供の番組が始まりました。DJによる生放送で音楽に乗せて和歌山の魅力を紹介しています。(毎週日曜日午後5時~5時40分「ワカヤマ クリスタルウインド」)

阪神・淡路大震災への救援物資・義援金のご協力ありがとうございました。

地震

和歌山県総務部消防防災課
〒640 和歌山市小松原通1-1 ☎0734-41-2262



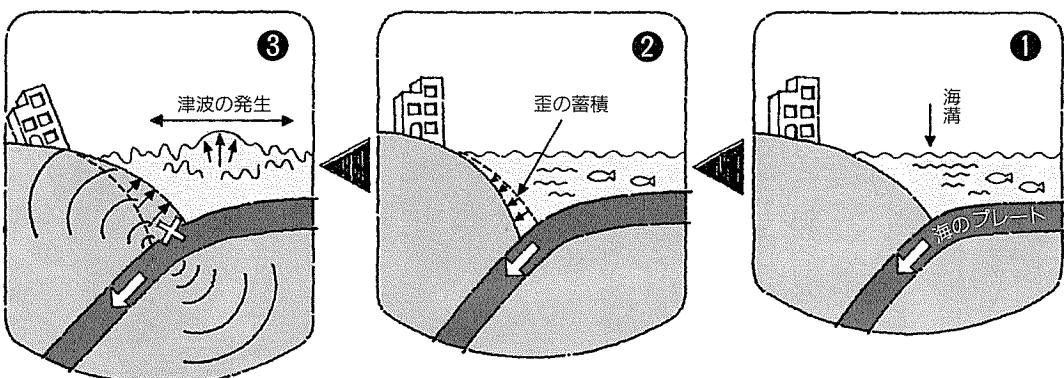
地震とは「地球内部の岩石の破壊による岩盤のずれ」をいうわけですが、この破壊のきっかけとなつた地点を震源、破壊された地域全体を震源域といいます。震源の真上を震央といい、震源地というのは震央の地名のことです。

よく間違えるものに震度とマグニチュードがありますが、震度とはその場所での揺れの強さをいい、ひとつの地震でも震源からの距離や地盤の性質、建物の構造などによって大きく違います。(震度階級のエネルギーの大きさを数字によって表したもの)です。

よく使われる地震用語

太平洋側などによく起ころる地震で、日本列島ののつてゐるユーラシアプレートに他のプレートがもうぐりこんでいくと、プレート同士の境目に歪がたまり、堪えきれなくなると、元に戻ろうとして跳ね上がり、地震が起ります。海洋で起ころるため、津波を伴うことがあります。

いずれの場合も、地球の表面(大地と海底)はかなりダイナミックに動いており、このことが地震の起ころる原因と言えます。



「地震をさぐる 地震予知と大学の役割」

昭和61年3月・東京大学地震研究所・地震予知研究協議会より

地震はなぜおるのか?

地震の起ころ方は大きく分けられます。

1 内陸型地震

日本列島ののつてゐるユーラシアプレート(大きな厚い岩板)は、右横ずれ断層、正断層、左横ずれ断層、逆断層(つき上げ断層)で、印は断層の動く方向

絶えず押されているため、その圧力でプレートが耐えきれなくなり、プレートが壊れて断層ができ、地震が起ります。

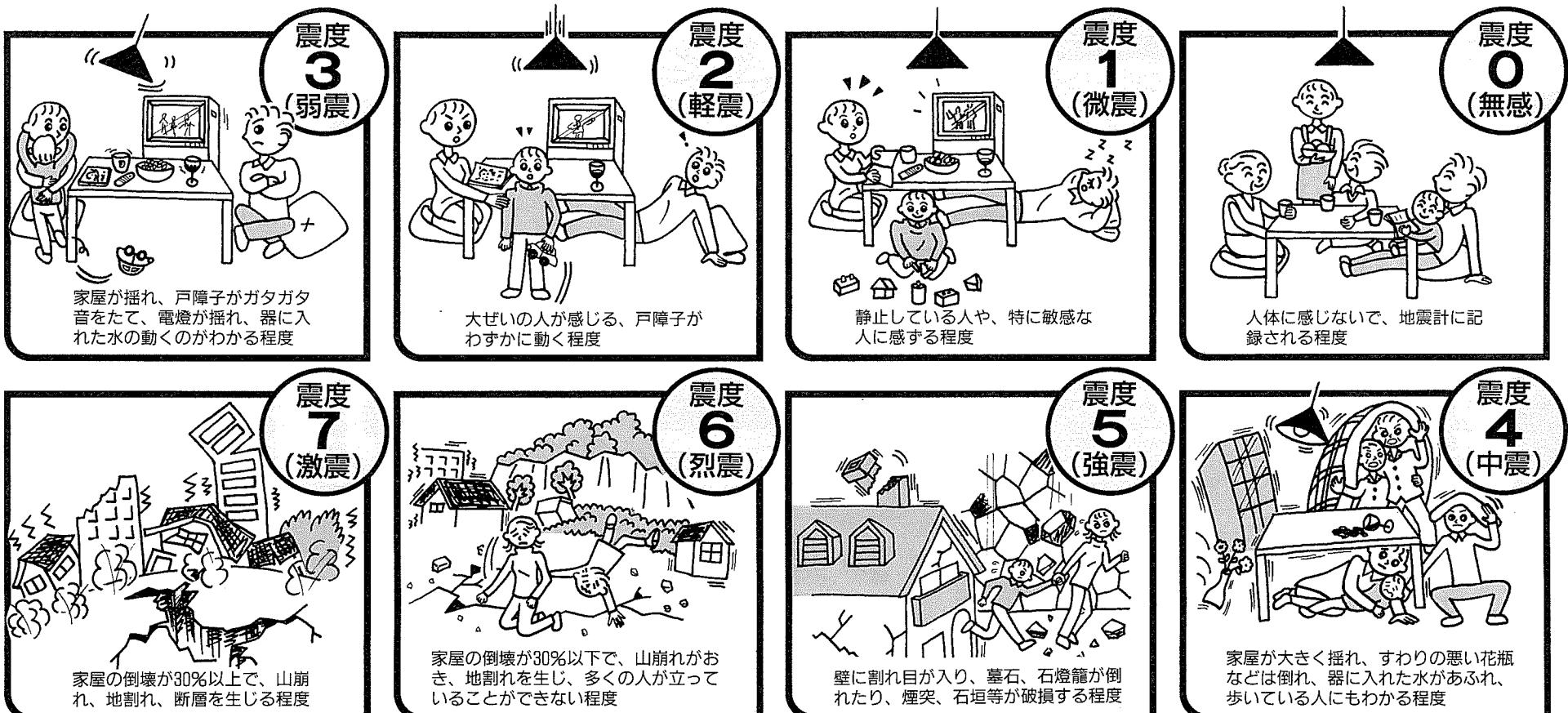
この地震は、人の住んでいる近くでも起こり、直下型地震ともいわれています。

震源が近いため、地震の規模が比較的小さいものでも、大きな揺れを生じます。

2 海洋型地震

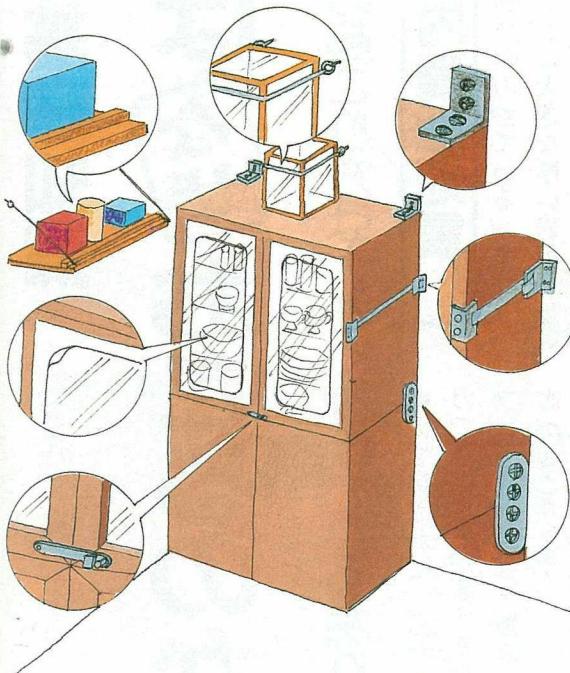
太平洋側などによく起ころる地震で、日本列島ののつてゐるユーラシアプレートに他のプレートがもうぐりこんでいくと、プレート同士の境目に歪がたまり、堪えきれなくなると、元に戻ろうとして跳ね上がり、地震が起ります。海洋で起ころるため、津波を伴うことがあります。

気象庁震度階級



減るために

なる被害をできるだけ小さくすることは可能です。
に注意しておけばよいのでしょうか。



家具等の転倒、落下防止

転倒した家具や落下物も大変危険です。
家具を固定したり、食器などの落下防止に努めてください。
※倒れた家具、ガラスの破片で負傷することが多い。

地震の起ころる前に

平素の心構え



防災訓練に参加する

県や市町村が実施する大規模な訓練への参加だけでなく、各地区ごと、職場ごとの訓練にも積極的に参加し、消火器の使い方、応急手当の仕方など、防災行動力を身につけましょう。

近所との人間関係を 良くしておく

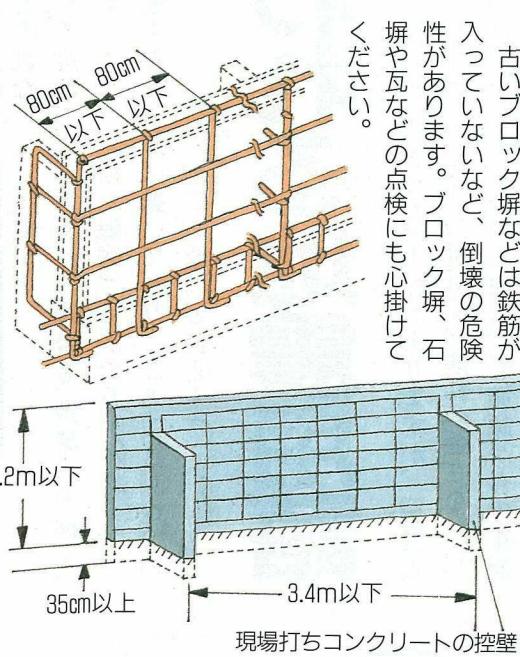
※地震直後は近所の人達で必要なものを融通し合い、助け合つ
ことが大切です。

家庭内の防災会議の実施



大地震の時、家族があわてず行動できるように、日頃から次の様なことを話合っておいてください。
●避難場所、避難経路
●家族の連絡方法、落ちあつ場所
●その他
●幼児や高齢者等弱者の避難をどうするか
●ふだんから防災に 관심を持ち、話合っておくことでのいざというときに、落ちついて的確な行動がとれます。
※避難場所、避難経路は、市町村ごとに指定されています。

ブロック塀や石塀の倒壊や瓦の落下に注意



古い建物は危険

古い建物は、壁や筋かいが少ないなど大地震の際には危険なものが多くあります。日頃から柱、壁や筋かいなどを点検し、補強に心掛けてください。

なお、耐震性などに不安がある場合は県や専門家にご相談ください。

消防器などの備え

いざと言う時のため消火器、消防用水、懐中電灯などを備えておきましょう。懐中電燈は枕元に備えておきましょう。



非常持出品の準備

避難場所での生活に最低限必要な準備をし、また負傷した時に応急手当ができるよう準備しておきましょう。

非常持出品はいつでも持出せるように備えておきましょう。



地震の被害を軽減する方法

地震が発生するのを防ぐことはできませんが、地震による被害を軽減する方法を学んでおきましょう。

自分の身の安全を図る

大きな揺れは一分程度でおさまります。揺れを感じたら、まず丈夫な家具等に身をかくすなどして、座布団などがあれば頭部を保護します。特に揺れで倒れる時に、一階から一階に移動しないでください。一階の方が危険です。



地震の揺れでドアや窓が開かないことがありますので、非常出口を確保するようにしましょう。

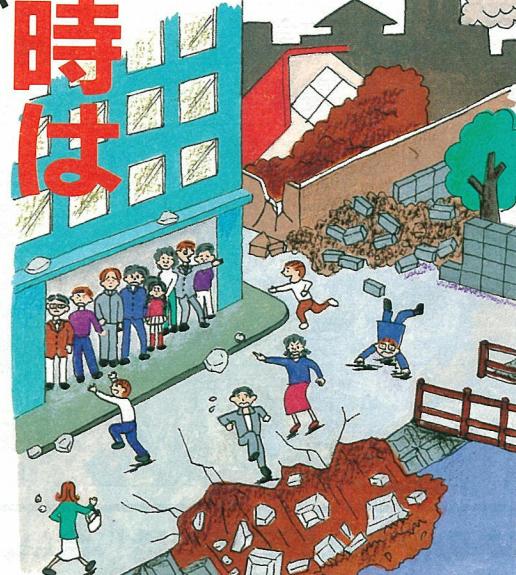
非常脱出口の確保

危険な場所に近付かない

狭い路地、堀ぎわ、崖や川べりに近寄らないようにしましょう。

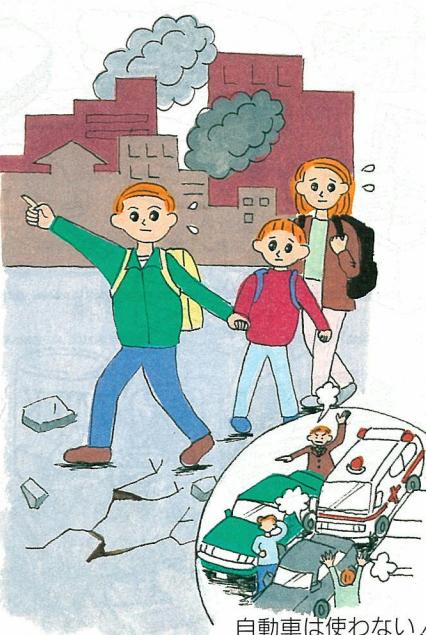
もし大地震が起つた時は

いざとこうとせじつあるか



避難は徒歩で、持物は最小限にする

自動車による避難は、交通混雑のもとになり、緊急自動車が活動できないばかりでなく、渋滞中に周囲で火災が発生すると車に引火し火の川になってしまいます。



自動車を運転中の時は

道路の左側か、空地に駐車し、エンジンを止めましょう。車を離れるときはキーをつけたままにしておいてください。

津波に注意

和歌山県では、過去に度々津波の被害を受けており、津波に対する警戒が必要です。

地震発生後は、市町村役場、消防本部などの呼びかけに十分注意するとともに、速やかに高台などの安全な場所に避難してください。



正しい情報を入手する

テレビ、ラジオの報道や市町村役場、消防署、警察署の情報に注意し、テーマにまじわられないようにしましょう。
※「〇〇市は全滅した」とか、「〇〇日△△時××分に大きな余震が来る」といったものはデマです。

和歌山県に影響を与えた地震



阪神・淡路大震災

元町付近
(1月1日撮影)

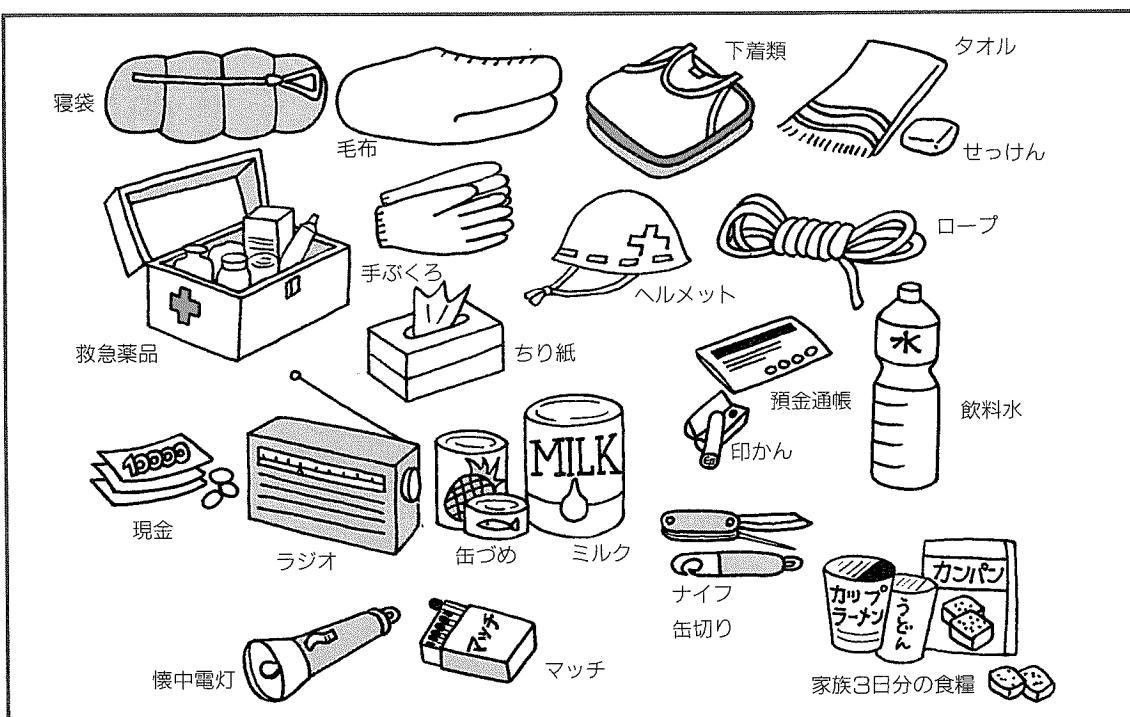
- 南海道地震** — 一九四六年十一月十一日紀伊半島沖を震源とするマグニチュード八・〇で県内の震度はほぼ全域で震度五であり、地震災害の特徴として、大きな津波が押し寄せ、新宮市では火災が発生し、二、三九八戸焼失している。被害は、死者一九五人、負傷者五六二人、行方不明七四人、住居の浸水、焼失、全壊、半壊一七九五戸。
- 東南海地震** — 一九四四年十二月七日熊野灘を震源とするマグニチュード七・九で紀伊半島東部から東海地方にかけて震度五・六であり、和歌山県では津波による被害が大きかった。全国で被害は、死者九九八人、負傷者二〇五九人、住居の流出、全壊、半壊七六、二三九戸。
- 安政南海地震** — 一八五四年十二月二十四日紀伊半島沖を震源とするマグニチュード八・四で県内の震度はほぼ全域で震度五であり、被害は、死者七三九人、住居等の流出、焼失、全壊、半壊一八、四四〇戸。

※和歌山県の過去の地震被害では、津波によるものが多い。

非常持出し品チェックリスト(参考)

飲料水	救急薬品	毛布	避難場所
家族3日分の食糧	寝袋	ラジオ	
缶づめ	ちり紙	電池	
タオル	せっけん	マッチ	
印かん	ヘルメット	ナイフ	
預金通帳	手ぶくろ	缶切り	
現金(小銭含む)	懐中電灯	ミルク	
下着類	ロープ	その他	

この他にも必要なものがあれば家族で話し合い、そろえておきましょう。



防災ビデオフィルムの貸出し

県では、県民の皆様に防災に対する関心を深めていただくために、防災用ビデオフィルムの貸出しをしています。

ご利用を希望される方は、県庁消防防災課(0734-41-2262)までお問い合わせください。

起震車の貸出し

県では、関東大震災をはじめ、過去の大きな地震の揺れを体験できる、起震車の貸出しを行なっています。

希望される方は、地元の消防本部か役場にご相談ください。